

2017年  
7月10日

No.224

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-545-5154

## 2017原水爆禁止国民平和大行進

# 核兵器のない世界へ 歴史的転換を

「核兵器のない世界へ、歴史的転換を」。ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約の交渉会議が開かれているなか、5月6日に東京都江東区の夢の島を出発した「2017年原水爆禁止国民平和大行進」(東京～広島コース)が、6月16日滋賀県入りしました。多くの県民が参加して各地で首長、議長への要請や核兵器廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」に取り組み、21日京都に引き継ぎました。

さざなみネットは、滋賀銀行従業員組合や先輩組合員のみなさんとともに、「金融労連」の旗を掲げて県内をリレー行進しました。

リレーノートに綴られた感想などを紹介します。



岐阜県からの引継式 関ヶ原公民館



米原市山東庁舎前

### 16日 関ヶ原～長浜

昨日から国連で核兵器禁止条約の交渉会議が行われている。歴史的な時期だ。60年目の平和行進が滋賀県入りした。今年も参加できてうれしい。朝は曇っていたが、晴天で暑い日になった。岐阜からの引き継ぎ式は関ヶ原公民館の3階で200人が集まり賑やか。今年もコーラスで始まった。みんなで「原爆許すまじ」を歌った。今ほど核兵器禁止条約の採決、核兵器も基地もない平和な日本が重要な時期はない。頑張って歩こう。

(山崎)

### 20日 草津～大津

午後、青年会館を出発して、大津市役所まで参加。(植木)

### 21日 大津～山科

天気予報通り夜半から大雨。「ついてますね！」雨もあれば晴れもあり、全国通し行進者の西田さんは「14日ぶりの雨」「恵みの雨」と話されました。身体は楽です。

(植木)



滋賀県庁前



グラジオラス 岩波 美智子さん 画



のぼりを掲げて大津市内を行進



## 第63回滋賀県母親大会

# 子どもたちに平和な未来を！

6月25日、「子どもたちに平和な未来を！」を大会テーマに第63回滋賀県母親大会が大津市の比叡山中学校と天台宗務庁で開かれ、700人以上が、さぎなみネットから4人が参加しました。

全体会では、NHKスペシャル「無縁社会～“無縁死”3万2千人の衝撃～」「終の住処はどこに～老人漂流社会～」「“見えない貧困”あなたは気付くことができますか？」などの制作に携わったNHKプロデューサーの板垣淑子さんが「『見えない貧困』に立ち向かう～子どもたちのSOSによりそって～」と題して記念講演。高校生の貧困、老後破産・ダブルケアなど貧困の連鎖の実態を映像を交えて紹介しました。その原因が高齢者や子どもの福祉施策の脆弱化にあると指摘。社会保障制度を手厚くする制度改革の必要性を訴えました。

記念講演に先立ち、原発、憲法、えん罪ほか各分野の団体が運動を報告し訴え。午前中は17の分科会・講座で交流しました。

● 参加された浦谷さんから板垣淑子さんの記念講演、清水さんから分科会の感想をいただきました。

● 表面上はわからない見えない貧困とは、子ども6人に1人が貧困と言われているが、学校の先生に聞いても、「うちのクラスにはいません」とのこと。

親の貧困による子どもの貧困は、沖縄では2人の1人と言われている。1人の女子高生に密着取材した映像を見せてもらいました。

高校生といえど、大人扱い、親に甘えられない、毎日アルバイトし、親の収入だけでは生活できず、弟、妹の面倒見ながら、アルバイト料を家計に回し生活している。成績はトップクラスで大学に行きたいけれど無理だし、早く就職して家族を助けなければと語っていて、前向きにとらえ明るく頑張っている。高校生だったら自分の小遣い稼ぎにバイトしていると思っただけですがすごいです。



講演をする板垣淑子さん

子どもは簡単にSOSを出さないし親の貧困が原因という自覚もないのです。けなげに生きている姿に1年間密着取材したスタッフと涙の別れをしたそうです。

こうした現状を変えていかなければ、考えさせられました。(浦谷)

● 「冤罪は何故起きるのか」の分科会に参加しました。共謀罪が成立した直後でもあり関心は高く講師の話に聞き入りました。

警察、検察、裁判官とも憲法意識、人権感覚が欠如している。冤罪はいつでも、どこでも、誰にでも起こりうる事で、善意の警察への信頼、話せば解るという期待、法的知識、権利意識の欠如から起きる。もしもの時は、国民救援会の弁護士を要求する。否認ではなく黙秘を等。

今は生活安全条例、迷惑防止条例、青少年健全育成条例、環境美化条例など条例の改悪や、防犯カメラ、自治会や学校と警察との繋がりなど市民の相互監視が広がっている。圧倒的多数の国民の中には、悪は許さない、テロは防止しなくては、その為には警察権限の拡大もやむを得ないという思考回路が形成されている様に見えるが、その前に犯罪やテロは何故起きるのか？市民常識に曇りはないかの検証が大事である。何よりも私たち市民の人権感覚を研ぎ澄まし、市民のネットワークが必要と。下から声をあげろ大切さを学びました。(清水)

ひととき

6月30日に長浜八幡宮の前を通ったら、鳥居に茅の輪がしてあるのを見つけた。「茅の輪神事について」の説明に「この輪を3回くぐり越えることによって、災難・病難が免れ健康で、この夏を越すと云われています。」とある。

「古歌に、水無月の夏越の祓いする人は千歳の命のぶと云うなり」ともあった。水無月は6月のこと。6月の最終日は一年の上半期の最後の日にあたる。この日の行事の「夏越の祓い」は、半年間の穢れを払うのみならず、長寿を祈る行事でもあったようである。

母の分も一つくぐる

茅の輪かな 一茶  
の句も書いてあった。私は入院している弟の分、妻は施設と自宅を行き来している母の分も一つくぐってきた。

今年の夏の暑さは、平年より気温が高く猛暑の予想が出ている。身体に気を付けて、無事夏を越したいものである。